

# INFORMATION

令和4年度 男性の家事・育児と仕事の両立を促進するためのセミナー等事業

## 「カジダン・イクメンのススメ」

～家事と育児をこなして仕事もスキルアップ!～

子育てや家事を楽しんでこなせるようなモチベーションが上がる家事術や男性にとって必要な生きる術を身につけます。

- 日時：7月25日(月) 13時30分～15時
- 会場：仙北市角館庁舎(角館町中菅沢 81-8)
- 対象者：企業にお勤めの方 他男女問わずどなたでも
- 参加費：無料 オンライン(ZOOM)参加可能
- 講師：本田正博さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン東北事務局長)



## ハーモニープラザまつり WEEK 開催 参加登録団体募集

ハーモニープラザまつりの開催の有無等についてアンケートを実施し、結果「昨年と同じ内容で開催してほしい」との回答が多く、今年度も昨年同様に登録団体の活動紹介や作品の発表の場として開催することになりました。つきましては、参加団体を募集します。活動の機会や会員を増やしたい等を希望される団体はぜひご参加ください。

- 開催日時：9月10日(土)～17日(土) 平日9時～21時 土日9時～17時 木曜休館日
- 会場：南部男女共同参画センターオープンスペース
- 内容：団体活動紹介展示/団体作品展示/団体活動紹介・作品・演奏等動画配信

## 登録団体活動紹介等の動画作成セミナー

ハーモニープラザまつり WEEK で登録団体の動画配信に合わせて、動画を作成し配信する方法を学ぶセミナーを開催します。写真データ(10枚程度)や動画を準備していただき、素材(写真や動画)を編集し作成した動画を配信します。

- 日時：① 8月24日(水) 10時～12時 ② 8月27日(土) 10時～12時  
③ 8月27日(土) 13時30分～15時30分 ■各回先着5団体
- 会場：南部男女共同参画センターオープンスペース ■参加費：無料
- 講師：八嶋英樹さん(秋田県南NPOセンター理事) ■参加対象者：登録団体
- 持参品：パソコン、活動写真データ10枚程度、あれば活動や演奏等を行なっている動画

※ 講座申込・問合せ：南部男女共同参画センター

電話：0182-33-7018 FAX:0182-33-7038 e-mail:sagec-7002@abelia.ocn.ne.jp

## 県の記念日

秋田県は、令和4年で151歳を迎えました。秋田県が1871年(明治4年)の廃藩置県によって「秋田県」が誕生した8月29日を記念し、1965年(昭和40年)に制定されました。県の記念日を祝い8月27日(土)28日(日)、センターの研修室利用が無料となります。ぜひ、ご活用ください。(利用には予約が必要です、センターにお申込みください)

**編集後記** 今年もホタルがたくさん飛んでいました。年々増えている気がします。川の水がきれいなんだと安心していましたが、よく考えると川の上流に住んでいる人が減って川を汚すことが少なくなったからかもしれないと思ったのです。畑にはキツネが来るようになりました。毎年タヌキの親子も来ています。カモシカやクマ、イノシシもいます。私が住む地域は人間より動物の方が多いのかもしれません。複雑な気持ちでホタルを見ました。(小山)

あなたの“いきいき”応援します。

# ★ さらめき ★

秋田県南部男女共同参画センター通信 ★第122号

発行 2022年7月

秋田県南部男女共同参画センター  
(愛称：南部ハーモニープラザ)  
〒013-0046 秋田県横手市神明町1-9  
TEL.0182-33-7018 FAX.0182-33-7038  
<http://www.akita-south-jender.org/>  
E-mail sagec-7002@abelia.ocn.ne.jp

## 事業報告

### 令和4年度 男女共同参画センター運営事業 第1回 利用者懇談会

5月24日(火)、センターに対する意見や要望をうかがいセンターの運営に反映させることと、登録団体の交流を目的に開催される利用者懇談会に16団体が参加されました。今年度のセンターの事業計画の報告とハーモニープラザまつりについて話し合いました。事前アンケートを実施し、(56団体に実施)結果は「昨年と同じような内容で開催してほしい」12人、「開催してほしい」8人、「その他」7人、「中止にしてほしい」0人、無回答5人でした。この内容を受けて、昨年同様ハーモニープラザまつり WEEK として開催することになりました。またセンターに対する要望や意見については以下の内容です。



利用者アンケートから、センターに対する要望と意見

【要望】昨年の夏は猛暑で研修室のエアコンが使用できない日がありました。今年はいかがでしょうか？

【回答】猛暑の影響によりプレカーが落ち、大変申し訳ありませんでした。停止することがないように注意して対応します。

【要望】センターの取組みがよく伝わってこない。宣伝不足ではないか。利用しにくい。事業の対象がいつも同じメンバーが参加しているように感じる。

【回答】事業の内容によっては興味のある方の参加が同じになるかもしれないが、宣伝についてはセンターHP・Facebookチラシや広報で行っています。より沢山の方に認知してもらえるように努めます。

【意見】いつもセンター内が清潔で気持ち良く、対応も行き届いていると思います。

【意見】当方の認識不足で、このセンターを十分に活用できていないと思っている。他の団体の活動と利用のあり方を参考に活動拠点の一つとして利用していきたい。

### 令和4年度 ネットワーク業務 第1回 地域連携ネットワーク会議

5月27日(金)センター登録団体とあきたF・F推進員、県担当者と市町村職員、センター職員総勢31名(オンライン参加17名)が参加し開催しました。会議では、今年度の県と各市町村、センターの男女共同参画推進事業計画を共有し理解を深め相互協力を図ることを目的に情報交換を行いました。

### 第1回センター運営委員会

5月27日(金)センター事業の充実を図るため、運営委員と県担当者、センター職員の8名で行われました。今年度から2年間運営委員を務めてくださるのはセンター登録団体「大仙民話の会」代表の倉田直美さん、あきたF・F推進員の富岡美津子さんと佐藤将彦さんの3名です。今年度の事業の計画内容について報告し、運営委員から意見やアドバイスをいただきました。第2回目は令和5年2月に開催予定です。事業報告を行うほか、次年度への提案等やご意見をいただきます。

# ハーモニーフェスタ 2022 Symphony ～みんなで奏でる男女共同参画の音色～

## 令和4年度 秋田県男女共同参画社会づくり表彰

【ハーモニー賞】 <sup>うのきえみこ</sup> 鷓木恵子さん（能代市）

◆能代市の男女共同参画推進に関する施策・事業の実施に貢献、男女共同参画都市宣言事業の実行委員や男女共同参画の策定に関わる委員会会長、能代市防災会議委員などを歴任され、あきたF・F推進員、能代市男女共同参画推進委員等としての長年の経験と知識を活かした活動が評価されました。



【チャレンジ賞】一般社団法人 平鹿建設業協会女性部「SAKURA」（横手市）  
◆県内で初めて設立された建設業協会女性部であり、その活動が全県域の建設産業女性活躍ネットワーク「クローバー」の設立につながりました。建設現場で働く女性技術者等と女子高生が交流する場の提供や女性の入職拡大に大きく寄与しています。「男性の仕事」とされていた建設業界において女性が選択できる職業の一つとして、建設業のイメージ改善に大きく貢献、男女ともに働きやすい職場づくりに向けた取組みが評価されました。



**基調講演 「農家の母さんの挑戦」**  
石垣一子さん（陽気な母さんの店株式会社 代表取締役社長）

石垣さんは「女性起業家」という言葉がない時代に農作物直売所を設立、法人化し年間販売額2億円の企業に発展させました。

自身の結婚からこれまでのこと、農家として誇りと自信をもっていたものの、「農家の嫁はかわいそう」と言われ悔しかった経験が原動力になり今の自分があること。家族や仲間への思い、今後の目標についてお話いただきました。男性だけにまかせて責任をとらせるのではなく、女性も男性と肩を並べ責任も一緒にとる。意見を出し合い世の中を良くしていこうという気持ちが大切と話されました。

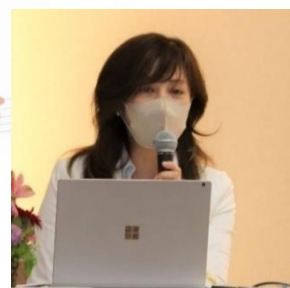
## パネルディスカッション 「自分らしくイキイキと過ごすために」

パネリストの皆さんのこれまでの人生を振り返り、長年暮らした東京から秋田に戻ってきた思いと仕事、家族や交友関係、地域のことをお話いただきました。秋田県の若者の県外流出が多いことについて「～でなければならぬ」などの固定観念にとらわれず過干渉にならず、認め合える社会になることが大切。「県外へ出て行っても秋田に帰りたい」と思える魅力的な地域になることが必要。そして、仲間や友人がいて楽しい、ワクワクすることがあることで自分らしくイキイキできる、一歩を踏み出してほしいと話されました。

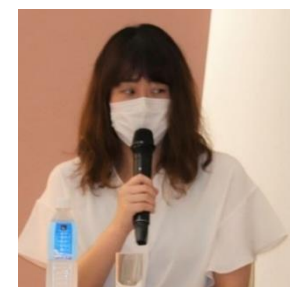


写真左からコーディネーター佐藤文枝さん（あきたF・F推進員）、パネリスト仙台ななさん（103 Voicelabo 代表）、大江由布子さん（リンパアクティベーション協会認定サロン「へばりんぱ」代表）、小貫寧子さん（小貫自動車整備工場事務員）

## 南部会場 パネルディスカッション 「女性活躍って？イマドキ女子の働き方と生き方」



コーディネーター  
奥真由美さん  
（あきたF・F推進員）



パネリスト  
榎原千秋さん  
（アダマンド並木精密宝石株式会社員）

「女性活躍」が叫ばれている昨今、家事や育児をしながら働いている女性は果たしてどう思っているのか。また、企業経営者は職場環境の改善や従業員のワークライフバランスについてどのように考えているのか。そして、働く妻を支える男性の視点と家事や育児への協力について、立場や年代など異なる三者をパネリストに迎えました。

和賀組代表の和賀さんは、大幅に休日を増やしたことで生産性が向上したこと等や自身のワークライフバランスについてご紹介いただきました。ファザリング・ジャパンの林さんからは、子どもの成長過程に応じて家庭と仕事のどちらに重きを置きたいかの意思を尊重できる社内風土の育成が必要とお話いただきました。企業で働く榎原さんは、夫が家事育児に協力的であり自分も仕事ができているが、夫が家事育児に参加しない家庭も身近にある。「女性は家事育児で日々活躍している、更に仕事でも活躍してくれということだろうが、これ以上は無理」「男性も家事育児で頑張れという言葉があれば気持ちが軽くなる」男性の育休取得については、家事育児に参加していない男性が取得しても女性が大変になるだけ、自身の経験から育休取得でなく定時で帰宅してほしかったので、選択できればよいと話されました。



パネリスト  
和賀幸雄さん  
（和賀組代表取締役）



パネリスト  
林一輝さん  
（NPO法人ファザリング・ジャパン東北 秋田理事）

参加者アンケートから

- 石垣さんが農家の仕事に誇りをもって働いている姿が本当にカッコイイと思いました。(50代)
- 企画の内容がとても充実していたと思います。(60代)
- オンラインは便利である一方、北部会場の雰囲気が南部会場にはよくわからなかった。(40代)
- 「女性は十分頑張っているのに更に活躍を求めるのか」という榎原さんの発言にハッとしました。そろそろ「男性」「女性」というタイトルをつけなくてもよい時代がきているのかもしれない。

大曲人権擁護委員協議会のパネル展



## 秋田県男女共同参画推進月間パネル展開催報告

6月の秋田県男女共同参画推進月間イベントとして、センターで「女性、少女の人権パネル展」（アムネスティ日本：JICA東北センター提供）と「性と人権パネル展」（性と人権ネットワーク ESTO 提供）を開催しました。また、あきたF・F推進員から男女共同参画推進や多様性、人権等に関するメッセージをお寄せいただき展示しました。

